

# いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成 22 年度いのちの教育総合支援事業

## 「いのちと心

### ～東京大空襲から～

高岡市立戸出西部小学校 4・6 学年児童  
平成 22 年 12 月 2 日実施

## 【いのちの先生】

白方 美智子先生

### 【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介
- 2 「いのちの先生」の話
  - (1) 東京大空襲の経験談
  - (2) いただいた「いのち」
  - (3) 自分の心を見つめる
  - (4) いのちの大切さ
  - (5) 人の役にたつように生きる

6 年生では社会科「第 2 次世界大戦」や国語科「平和のとりでを築く」の学習と、4 年生では国語科「一つの花」の学習等と関連させたことで、いのちの先生のお話を真剣に聞いていた。教科の学習とリンクさせることで、より一層児童の心に響く授業となった。

また、元小学校教員である白方先生の話力と、80 歳に近い年齢を感じさせないパワー、いただいた「いのち」を一生懸命生きていらっしゃる姿に感銘を受け、児童は自分の心を見つめ、いのちの大切さを実感していた。



## 白方 美智子先生へ（4 学年児童の感想）

今日、私たち 4 年生のために、子どものおこったつらい戦争の話をして下さって、ありがとうございました。

白方先生は、おばあちゃんとお母さんと妹を同時に亡くされてしまったとき、すごく悲しかったと思います。もし私がそんな目にあったら、つらくて死んでしまいたいと思ってしまいます。でも、生きるために、つらさを乗り越え、成長していった白方先生は立派だと思います。私もそんな白方先生を見習いたいと思いました。これからもお体に気をつけて、元気にすごしてってください。

お母さんへ

ぼくはこれからのいのちを大切に  
して生きていきたいと思いました。  
そのわけは、ぼくは幸せな時代に  
生まれて、戦争なども体験してい  
ないので、すぐに友だちに死ねと  
か言っていました。でも、白方先生  
の話を聞いて、人のいのちは大切  
だから、いのちを大切に  
にしようと思いまし  
た。

イラスト「心のノート」より



〇〇へ

お母さんの子どもに生まれてきて  
くれてありがとう。

お母さんは、〇〇がお腹にいた  
ときから今まで元気でいられたの  
は、周りの人たちのおかげだと思  
います。皆さんに感謝の気持ちをも  
つて毎日を過ごして行ってほしいと  
思います。そして、〇〇  
の成長がお母さんのエ  
ネルギーになってい  
ます。

イラスト「心のノート」より



お母さんへ

戦争のとき、大空襲で10万人  
ものいのちがうばわれたと聞いて、  
すごくかわいそうだと思いました。  
白方先生は、そんな中でよく生き  
のびることができたと思います。  
白方先生のお話を聞いて、ぼくも  
いのちを大切に、精一杯生きた  
いと思いました。

イラスト「心のノート」より



〇〇へ

〇〇は、かけがえのない、だれも  
代わりにはなれない大事な子どもで  
す。せっかくいただいたいのちです  
から、大事に悔いなく、できること  
を一生懸命にやる人になってほしい  
と思います。お母さんもがんばるから  
〇〇も一緒にがんばりましょうね。

イラスト「心のノート」より

